

第43回阪神間ユネスコ協会連絡会合同事業
—ボッチャ大会—(主管:神戸ユネスコ協会)
2024.10.13 神戸市立長田区文化センター



第1部は約20チームで「ボッチャ大会」が開かれました。未経験の伊丹ユネスコチームは3試合の中でただの1点も取れず、最下位になってしまいましたが、一緒に参加した「伊丹ボッチャクラブ」のメンバーは見事に優勝されました。ボッチャは簡単に見えますが経験と戦略が大事、ということが分かりました。

第2部は「パラスポーツとノーマライゼーション社会」と題し愛ボッチャ協会代表の岡田良宏さんがヨーロッパの社会について講話をされました。日本では駅員やバスの運転手が仕事の一部として車椅子の方の乗降を手伝っているのをよく見かけます。しかしヨーロッパでは周囲の人がごく自然に手を貸しているのが当たり前、というお話に感動しました。

「ノーマライゼーション」とは障害者、高齢者などの社会的弱者を特別視せず、誰もが同等に生活できる社会を目指す考え方です。最近パラリンピックなど様々な情報を得ている私たち。もっと気軽に行動に移していきたいと思います。

2024年度 支援金	2025.3.1現在
□ウクライナ子ども支援金(一杯のスプーン)	70,296円
□能登半島地震災害子ども教育支援金	79,974円
□世界遺産活動支援金	50,000円
□世界寺子屋運動支援金	50,000円

寄付のお礼

日本フレックス工業株式会社様から、
28,946円の寄付をいただきました。
ご支援いただいたことに心より感謝申し上げます。

～手作り小物～ 制作活動

「会員同士の交流と支援活動の場を作ろう」という声から、30年前にユネスコデーと名付けた活動がはじまりました。月一回 理事と一般会員の有志が集り、楽しくおしゃべりしてお茶を飲みながら、「あると便利でちょっとかわいい小物」を制作していました。

ユネスコデーは会員や理事の減少、そしてコロナ禍などの影響でなくなってしまいました。しかし、手作り小物制作活動は手芸好きの少人数の理事が集まって、チクチクと手を動かし、継続しています。そして総会、コンサート、講演会などのユネスコ行事で販売しています。

その収益金は(公社)日本ユネスコ協会連盟に送金し、発展途上国の子どもたちや女性たちの学びのための世界寺子屋運動に役立てています。

また、手作り品だけではなく、ご家庭の不用品を寄付していただき、伊丹市内で開催されるバザールに出店して収益をあげています。これからもご協力よろしくお願い致します。



書きそんじハガキ・キャンペーン 2024年度の実績(2025年1月現在)

ハガキと切手：264,146円分(手数料を差し引いて)
テレフォンカード：50度数×26枚
図 書 カ ー ド：500円×2枚
収 入 印 紙：200円×1枚

発 行 伊丹ユネスコ協会
事務局 伊丹市同和・人権・平和課
〒664-8503 伊丹市千僧1丁目1番地
TEL 072(784)8148 FAX 072(780)3519
ホームページ <https://www.unesco.or.jp/itami/>

伊丹ユネスコ



2025年3月 No.76

心の中に“平和の砦”を

伊丹ユネスコ協会会長 佐藤 由紀子



平素はユネスコ協会の活動に多大なるご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。皆さま方のおかげで、私たちは平和のための多くの取り組みや、災害に見舞われた地域の子どもの学びを支援する活動が出来ました。

ユネスコの理念は、平和な社会の実現と、人類の福祉の増進です。しかしながら現実を目向けると、ロシアのウクライナへの侵攻から始まった戦争は今なお終わりが見えず、イスラエルとパレスチナの紛争や、イラクの内戦など、国際紛争が多発しています。

そのような中、日本原水爆被害者団体協議会(被団協)がノーベル平和賞を受賞しました。遡ると、1982年に、当時の被団協代表の山口仙二さんが国連本部で演説し、「ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、ノーモア・ウォー、ノーモア・ヒバクシャ」と声を振り絞り訴えた言葉があります。当時の私はまだ現職の一教員でしたが、この言葉に強い衝撃を受けました。このような苦しみを生む戦争を、絶対に起こしてはならないと、今、思いを新たにしています。

UNESCO憲章前文に「戦争は人の心の中に生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない」と謳われています。これは、私たちの活動の基本理念です。そして、心の中に平和の砦を築くことがどんなに大切かを、未来に生きる子どもたちに伝えていかねばなりません。

会長として活動を始めて3年、見えてきた課題は理事の高齢化と会員数の減少でした。役員会で話し合いを重ね努力した結果、若い新しい理事が増え、普通会员はもとより団体会員、維持会員の獲得も出来ました。そうすると私たちにも未来が明るく拓け、活

動意欲が増大してきました。

私たちは今後もユネスコの理念に基づき、平和で持続可能な社会の実現に向けた活動を続けてまいります。これからも、皆さまからの変わらぬ温かいご支援とご協力をいただきますよう心よりお願い申し上げます。

書きそんじハガキ・キャンペーン



協力して下さった北中学校生徒会の皆さんと

(公社)日本ユネスコ協会連盟では「世界寺子屋運動」の一環として「書きそんじハガキ・キャンペーン」を実施しています。書き間違いや未投函の郵便ハガキ、未使用切手、タンスの中に眠っている商品券や株主優待券、図書券、未使用テレホンカードやQUOカードなどの“タンス遺産”を集め募金に換えます。この事業は、主にアジア圏の紛争や貧困で学校に行けない子ども達が学びの機会を得られるように支援する活動です。

伊丹ユネスコ協会は、2022年度より市内の小、中、特別支援学校に協力を呼びかけ大きな成果を上げてきました。

今年度も市民の皆様をはじめ多くの方のご協力に心より感謝申し上げます。

～平和のための～ チャリティーコンサート
2024.11.9 東り いたみホール 中ホール

想像すらしなかった元日の大震災や9月の豪雨により、甚大な被害を受けた能登半島地域の子どもの支援を目的に、11月9日にチャリティーコンサートを開催しました。

第1部の伊丹シティフィルハーモニー管弦楽団の“アンサンブル和奏(わかな)”(4人) による「弦楽四重奏」では、ヴェルディ作曲の歌劇「椿姫」や、映画「千と千尋の神隠し」などが演奏されました。ヴァイオリンやヴィオラ、チェロなど弦楽器の持つ深みのある音色が、喜びや悲しみを見事に表現し、ドラマチックな情景に引き込まれました。

第2部の同管弦楽団の“ジュウィール”(4人)による「クラリネット演奏」では、アンパンマンメドレーや山田耕筈メドレーなど親しみのある曲が演奏され、クラリネットの持つ甘い響きに、幼い頃の思い出がよみがえるなど、とても穏やかな気持ちになりました。演奏者の代表 酒井舞子さんによる曲の解説やお話しも、分かりやすく親しみが持てました。

チャリティーコンサートの趣旨のもと、素晴らしい演奏を披露してくださった演奏者の皆さん、また、ご参加いただきました会員・市民の皆さんに心から感謝申し上げます。



研修バスツアー『鶴林寺&好古園へ』



秋も深まる11月25日、34人の参加のもと天台宗の古刹「鶴林寺」(加古川市)と、姫路城を望む日本庭園「好古園」を訪れました。

鶴林寺は思い描いていたより、はるかにスケールの大きな寺院でした。ボランティアガイドの説明に耳を傾けながら、境内に建立されている1397年創建の「本堂(国宝)」や、優美な檜皮葺の「太子堂(国宝)」、「護摩堂(重要文化財)」などを心行くまで散策しました。本堂では、本尊の薬師如来や毘沙門などを拝観し、敬虔な気持ちになるとともに心が洗われました。また、仁王門から本堂に至る参道の両側には、菩提樹や沙羅双樹が配され、いにしへの雰囲気を感じることができました。

昼食は、姫路において秀吉の「大返しめし」に因んだ「麦めしととろ」をいただき、午後からは、姫路城を望む日本庭園「好古園」の散策を楽しみました。好古園では、約一万坪の広大な庭園に繰り広げられる絵に描いたようなもみじの紅葉や、いきいきとした黒松のみどり、凛とした竹の立ち姿、悠々と回遊する色鮮やかな鯉に心が癒されました。帰路には、夢前町の「ヤマサ蒲鉾夢鮮館」で、出来立ての蒲鉾のおいしさに舌鼓を打ちました。

研修バスツアーでは、いろいろな人と話をしたり、ビンゴゲームを楽しんだり、お土産に心を躍らせたり、とても楽しい時間を過ごすことができました。また、日本の歴史や文化、日本人の繊細な感性に触れることができるなど、とても有意義な一日となりました。

第43回2024年度 伊丹ユネスコ協会 総会
2024.5.21 伊丹アイフォニックホール 小ホール

新型コロナウイルス感染症も、ようやく静まり爽やかなこの日に総会を開催しました。第1部では伊丹市長 藤原保幸様からお祝いのメッセージをいただき、ご来賓の伊丹市 市民自治部長 須磨昭文様が代読、続いて伊丹市の政策パンフレット『令和6年度 夢・まちプラン 未来へつなぐまち 伊丹』を紹介され、ご挨拶をいただきました。

議事：2023年度 事業報告、会計決算報告、会計監査報告はそれぞれ承認され、続いて2024年度 事業計画(案)、予算(案)の審議が行われ、滞りなく承認されました。ささやかなティータイムを挟んで第2部は“みんなで歌いましょう”を。歌唱指導：塩井眞理子さんのソロに始まり、会場の会員さんも元気いっぱい懐かしい曲の数々を歌い、終わりにユネスコの歌「世界中の人たちが みんな手に手をつないだら……」と、心で世界の平和を願って歌いました。



新会員紹介

ご入会ありがとうございます

団体会員 伊丹老松酒造株式会社 様
株式会社平原精機工業 様
維持会員 木下 誠さん
普通会员 古屋敷 達夫さん
安達 厚子さん
石堂 行文さん

哀 悼

畑 操さん(元副会長)
2024年6月15日 ご逝去
慎んでご冥福をお祈り申し上げます

伊丹ユネスコ日本語教室
～春夏秋冬～



お花見の会(2024.4.6)

今年は昆陽池公園の桜が満開でした。「お花見」は日本の文化です。それを楽しむために参加した受講生の皆さんは、三々五々散策し、風に舞う花びらに感嘆の声をあげていました。

その後スワンホールで交流会を行いました。参加者45人(外国人18人、日本人27人)。

趣向を凝らしたゲームの数々に大いに盛り上がり、最後に立石先生のおタマトーンの伴奏で「さくら さくら」を全員で歌い、おみやげのお菓子をいただいて散会しました。

HIAより教室視察(2024.7.27)

兵庫県国際交流協会(HIA)から日本語講師と日本語コーディネーターの方が当教室の視察にられました。お二人とも熱心に授業参観をされ、次のような感想を述べられました。「とても雰囲気の良い教室です。受講生がみな講師の方を向き、ボランティアさんが上手く役割を果たしていますね」と。わたしたちにとって何よりのお褒めの言葉でした。

伊丹市総合防災訓練(2025.1.25)

受講生と一緒に伊丹スポーツセンターで総合防災訓練に参加しました。

避難所の様子を知り、人を助ける訓練を見学することができました。地震や洪水などの災害に備え、地域の実態を理解することは非常に重要です。異なる背景を持つ受講生と共に、防災訓練を通じて助け合いながら命を守る大切さを学びました。